

江戸三名園の名残り：

幕末までは松平家の上中屋敷 今は付属小学校の自然観察園



2020年6月（東京都文京区・占春園）

◆学園のまちに別世界空間

隣接する広々とした教育の森公園とは異なり、斜面と低地を活かして、鬱蒼としたササに覆われた樹木が茂る旧庭園です。現在は筑波大学付属小学校の自然観察園として管理されています。

◆当時は江戸三名園の一つ

1746（延享3）年に建てられた碑文には「我が公の園は占春と名づく。その中見る所は、梅桜桃季、林鳥池魚、緑竹丹楓、秋月冬雪、凡そ四時の景有らざるは莫し」とあります。江戸時代にはホトギスの名所として知られていたそうです。

岡村幸二（JRRN会員）